

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社広島メタル&マシナリー

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広白岳1丁目2番43号

(3) 業種

製鋼・製鋼圧延業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成18年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの 5 年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度		計画期間の実績							
		上段：見込量 (b)	下段：削減率 (c)	(上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成 18年度	平成 32年度		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	94,280	92,394	-2.0	95,165	-0.9	100,750	-6.9	85,448	9.4	100.0	100.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	45	-100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計	94,280	92,394	-2.0	95,165	-0.9	100,750	-6.9	85,448	9.4	100.0	100.0
温室効果ガスみなし排出量											
実績に対する自己評価	前年度は6.9%増となったが、当年は顧客の生産量の回復と大規模な修理の発生もなく、操業の効率化に貢献出来た。										

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100      削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：製品出荷数量(t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績							
		上段：目標 (b)	下段：削減率 (c)	(上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成 18年度	平成32年度		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
温室効果ガス排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	198.7	196.7	-1.0	198.2	0.3	189.6	4.6	186.4	6.2	100.0	100.0
実績に対する自己評価											

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100      削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	該当操業による電気使用量を年2%減	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革に伴い、操業を見直し生産量を調整し休止日を設ける。</li> <li>生産物に合った大きさの電炉（50T炉→20T炉へ）を新規設置し、電気使用量削減を目指す。</li> </ul>
2	電気使用量の削減	該当操業による電気使用量を年0.5%減	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアーコンプレッサーのロス対策と隣接工場への供給の中止</li> <li>部門の統合によりコンプレッサーを統合し、効率化により電気使用量を削減する。</li> </ul>
3	電気使用量の削減	原油換算 200KL/年減	工場天井灯・事務所・街灯の追加LED化、工場420灯は完了
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	・コピー用紙使用量の1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネタイプへ買替、ミス印刷防止・PDF化により印刷枚数削減</li> <li>分別とリサイクルの徹底</li> </ul>
2	リサイクル率の向上	・リサイクル率を1%向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル品の回収の徹底</li> <li>裏紙の利用、郵便封筒の社内便への再利用</li> </ul>
3	その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回の敷地外清掃奉仕活動の実施</li> <li>公共交通機関の積極利用</li> </ul>

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。